

男性の健康を 考える



イラストレーション：ペドロ山下

性 差医療については既に一般化し、インターネットで検索すると、性差医療に取り組んでいる医療機関が数多く示されます。この性差医療の場面においては、男女それぞれが対象とされていますが、性差医療の歴史を背景として、主に女性を対象としている医療機関が多いように思われます。

しかしながら、あらためてわが国の男女それぞれの健康問題をみると、まず、周知のとおり、男性の平均寿命は女性よりはるかに短いことが指摘できます。この点については当然のごとく受け取られてきたと思われませんが、男性の平均寿命を女性に近づけるように努力することは公衆衛生上の大きな課題だと考えられます。さらに男性では女性に比べて、いわゆる生活習慣病の有病率が高いことが知られています。この点も公衆衛生上の課題として、男性の健康問題に取り組む意義を示しているのではないかと考えられます。

わが国では、男性のライフステージは、女性と比べて、単調だと思われます。したがって、前月号で取り上げた特集「女性の健康を考える」のような多彩なテーマでの企画はできませんが、男性の社会との関わり方の視点を取り入れて、男性の健康問題を取り上げてみました。